

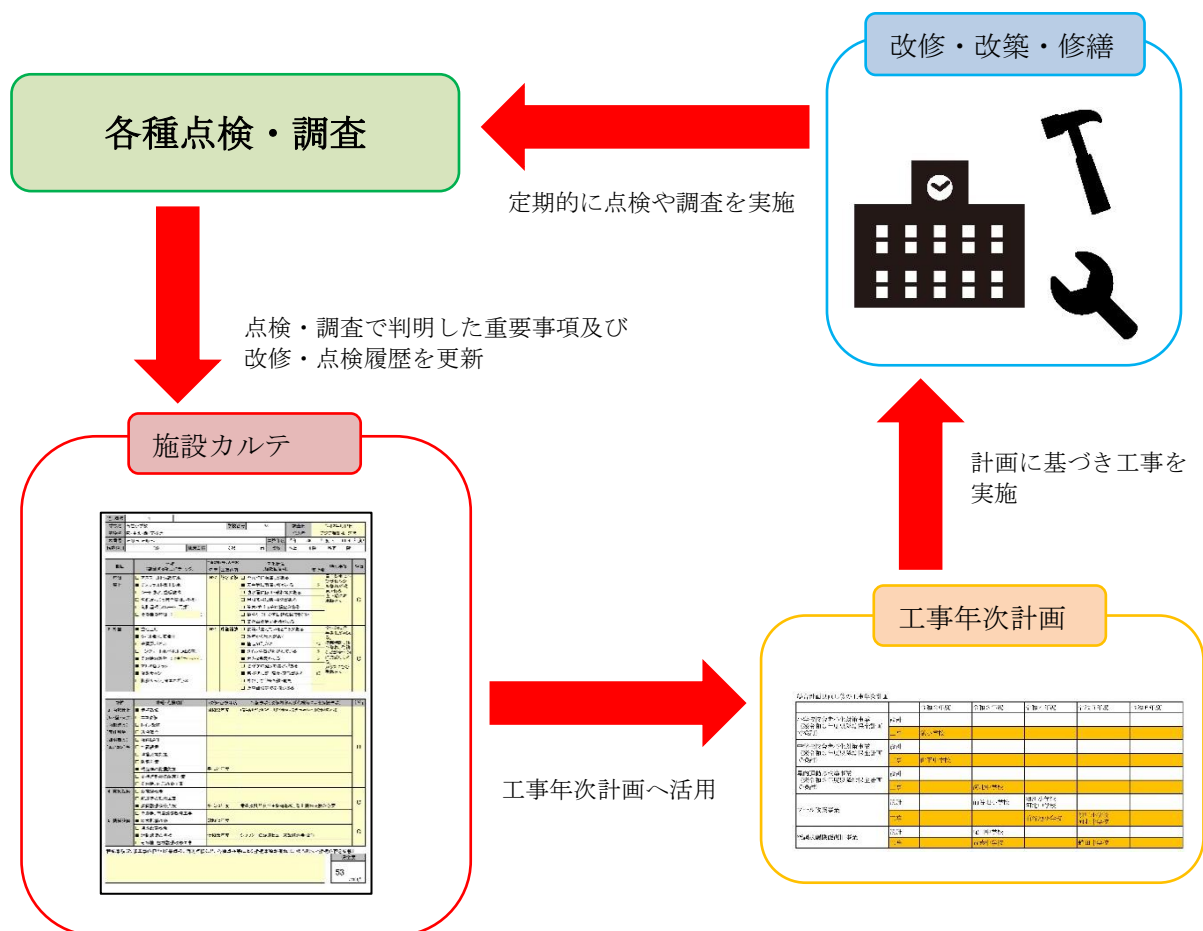
## 第7章 整備保全計画の継続的運用方針

効率的かつ効果的な施設整備を進めていくためには、本計画の策定（Plan）だけではなく、計画に基づき適切な改修や日常的な維持修繕を実施し（Do）、整備による効果の検証を継続的に行うとともに、改善点及び課題について整理し（Check）、次期計画に反映していく（Action）というPDCA サイクル（メンテナンスサイクル）を確立していくことが重要です。

このようなサイクルを確立し、整備保全計画を継続的に運用していくための手法や体制等を以下に記載します。

### ①情報基盤の整備と活用

- ・学校施設の建物ごとに基本情報や工事履歴、劣化状況を取りまとめた施設カルテを適宜更新し、工事年次計画の策定に活用していきます。 ※施設カルテについては、巻末資料に掲載してあります。
- ・情報を一元管理する仕組みの構築及び運用の定着を図っていきます。



### ②推進体制等の整備

- ・教育委員会が主体となって、総合計画実施計画関係では企画系部門、予算関係では財務系部門、工事関係では営繕系部門との連携を図っていきます。

### ③フォローアップ

- ・5年を目安に整備保全計画の更新を図っていきます。
- ・計画更新の際には3年ごとに行われる12条点検の結果を考慮した上で、改修・改築・修繕に関する計画のフォローアップや見直しを図っていきます。

## 石巻市学校施設整備保全計画

編集 令和3年3月  
石巻市教育委員会学校管理課  
〒986-8501  
宮城県石巻市穀町14番1号  
電話番号：0225-95-1111（代表）  
F A X：0225-22-5160